別紙1

指定管理者のモニタリングシート

1，基本情報

確認年月日：令和3年11月30日

施設名	本宮地区活動センター		
住所	盛岡市本宮四丁目38-26		
指定管理者名	社会福祉法人　盛岡市社会福祉事業団	所管課名	市民協働推進課
指定管理料（年額）	6,490,463		
今回確認期間	令和 3 年 4 月 1 日 から令和 3 年 11 月 30 日 まで （ 8 ヶ月間）		

2，業務の履行状況の確認について

（1）稼動実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		360	244
延べ利用者数	団体数	1,054	958
	利用者数	13,996	12,813
主要事業開催回数	自主事業(共催事業含む)開催数	2事業	2事業

（2）管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し，これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか（一部の市民・利用者に対して，不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。）。	適・要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物，外構，設備の修繕の履歴は整理，保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入，廃棄，修繕の記録について整理，保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
管理能力の確保	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

（2）管理運営実績（続き）

項目		確認欄
個人情報保護	施設で取り扱う個人情報は，特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について，記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議するべき事項について，適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について，適時に報告がなされているか。	適・要改善

3，サービスの質の確認について

（1）サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への応対のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内，説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
苦情要望	利用者からの苦情・要望に対し，適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について，市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4，指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

(1) 管理運営について
　ア　施設長会議で管理運営についての連絡指示を受けて，施設では毎月休日職員も含めた職員会議を設定し，共通意識の確認を行った。
　イ　三館合築館であるため，全職員で貸し館業務に対応できるようの職員に意識づけて対応した。
　ウ　厚生員においては，臨時の厚生員を上手く割り当てて対処した。
(2) サービスの質の向上について
　ア　職員全員で利用者，来館者への対応を丁寧にした。（案内，言葉遣い，接し方など）
　イ　利用者からの依頼事項は，できるだけ早く対処することを心がけた。（卓球台などの修理，使用上の指摘事項など）

5，モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
地区福祉推進会の行うまちづくり事業や主催事業等地域に密着したコミュニティ活動の拠点となる事業運営を行っていきたい。また、実施に当たっては、全職員の共通理解と協力で事業運営を推進していきたい。活動センター事業の貸館業務では、コロナ対策を促しながら公平性、安全性に配慮した業務執行を行っていきたい。	3館合築の利点を活かした行事や本宮地区福祉推進会と連携するなど，地域に根ざした施設として定着しているとともに，イベントの内容を工夫し関心を持ってもらうことにより，利用促進を図っている。今年度も，コロナ対応により，施設運営においては難しい面も多々あったが，行事においても地域団体と連携するなどし，柔軟に対応していただいた。 今後も住民の集会やレクリエーションのコミュニティ活動の拠点としての役割を担っていただきたい。